

第10回全道少年U-10サッカー北北海道大会 準決勝・決勝 戦評

<準決勝>奈井江 VS 三笠FC

0-0 PK 2-3 (0-0, 0-0, 延長0-0)

開始早々、三笠が右サイドからの攻撃により立て続けに攻めるが、ゴールを割ることはできない。すぐさま、奈井江も中央から左サイドへとつないで反撃し、3分、4分にはシュートを放つ。一進一退が続き、9分には三笠が中央から右サイドへと展開し、シュートにまで持ち込むが阻まれる。三笠はその後も右サイドからの崩しで奈井江ゴールを脅かすが、奈井江はGKを中心とした堅い守りで跳ね返し、前半終了と



なる。

後半、立ち上がりは三笠が右サイドから攻める。奈井江はそれをDFがはじき、右サイドへと展開し、ゴールに迫る。三笠もGKを中心に堅い守りで跳ね返す。攻守がめまぐるしく変わる展開が続き、16分には三笠が左サイドから攻めれば、17分には奈井江が中央から左サイドへと展開しシュートを放つが惜しくも外れる。18分には三笠が後方からのフィードをシュート。直後に奈井江も後方からのフィードをシュートまで持っていく。20分、三笠はパスカッ

トから縦へフィードし、中央からシュート。23分、奈井江は後方から左サイドへ展開し、ドリブルでゴールへと迫るがゴールラインを割ってしまう。24分には、再び奈井江が中央でパスカットからドリブルし、シュートを放つが堅い守りに阻まれる。そして、同点のまま後半も終了し、延長戦へと突入。

延長前半。まずチャンスを作ったのは奈井江。右サイドのスローインから中央を経由して左サイドへ展開しシュート。しかし、三笠の守りを崩せない。そのCKもシュートにつなげたが防がれる。2分、三笠がパスカットを前線にフィードしシュート。しかし、奈井江も守りが崩れない。その後、奈井江は右サイドのスローインから中央へとつなぎ、シュート。そして、そのCKも防がれてしまう。



延長後半。お互い、パスカットから前線へフィード

し、シュート。という攻めの応酬が続く。5分。三笠は右サイドから中央へつなぎシュート。奈井江もCKからシュート。どちらもゴールには迫るが守りを崩せない。結局、延長戦でも得点が入らず、0-0のまま決着はPK戦へ。



思いを込めて臨んだPK戦は、三笠が3-2で勝利をつかみ念願の決勝へと進出した。勝った三笠も惜しくも敗れた奈井江も堅い守りから攻めへとつなぐ好チームであり、攻守の切り替えも早く、暑い中最後まで走り切った素晴らしい準決勝だった。

(文責 十勝少年サッカー連盟 北田 和敏)

<準決勝>R. シュペルブ釧路 VS エスピーダ旭川
2-3 (0-2, 2-1)

試合開始早々、細かくパスをつなぐエスピーダは、⑦から⑩へとつなぎシュートを打つもバーの上を超す。その後もボールを支配するエスピーダは、⑩が積極的にミドルシュートを狙う。3分には、⑩のフリーキックを⑦が合わせるものの枠をとらえることができない。その後も⑩がドリブルでしかけチャンスをうかがっていたエスピーダは、5分、⑩から⑦へパスをつなぎ、最後は左サイドでフリーになっていた⑩が、落ち着いてゴール右隅に流し込み先制点を奪う。ドリブルとショートパスを駆使して攻めるエ



スピーダに対して、シュペルブは全体的に下がってしまい。なかなかボールを奪うことができない。7分には、⑦からパスを受けた⑩がミドルシュートを狙う。このボールがキーパーの手をかすめエスピーダが追加点を奪う。対するシュペルブも、⑦のインターセプトからのドリブルや、⑫の相手DFの裏への飛び出しでチャンスをうかがうが、エスピーダの⑩がしっかりと体を寄せて対応する。

ハーフタイムで、前からボールを奪いに行くことを確認したシュペルブは、後半開始早々中盤でのこぼれ球を拾った⑫が、エスピーダDFの一瞬のすきを突き裏へ抜け出し、GKとの1対1も落ち着いてかわしナイスゴールを決める。15分、エスピーダ陣内から⑫がドリブルで持ち込み、シュートを放つも、シュペルブGKの好守に阻まれる。16分、シュペルブ⑫が、相手DFの裏へ飛び出しシュートを狙うも、エスピーダDFの必死のクリアでゴールには至らない。17分、エスピーダは、左サイドでの崩しから⑬→⑭とつなぎ、再びパスを受けた⑭がダイレクトで押し込み3点目を奪う。その後もエスピーダが攻勢に出るが、シュペルブも全員が体を張った守備で追加点を許さない。22分、前がかりになったエスピーダDFの裏を取った⑫が、ドリブルで持ち込み見事なゴールを決め1点差に迫



る。その後も、必死に走り続けるシュペルブであったが、3-2でエスピーダが決勝にコマを進める。

個々の技術を武器に、多彩な攻撃を仕掛けたエスピーダ。また、惜しくも敗れはしたものの、終了のホイッスルが鳴るまで諦めずに走り続け、⑫を中心に最後までエスピーダゴールに迫ったシュペルブ。互いの持ち味が出た準決勝にふさわしい好ゲームであった。

(文責 十勝少年サッカー連盟 喜多 進)

<決勝>三笠FC VS エスピーダ旭川
1-0 (0-0, 1-0)

前評判の高かった両チームが決勝にコマを進めた。三笠が2年連続空知地区代表の優勝に輝くのか、エスピーダが悲願の初優勝を果たすのか、興味深い決勝戦となった。試合前からリラックスムードの三笠に対し、非常に高い集中力で試合に臨むエスピーダ。青空の下、両チームの応援団はじめ、すでに試合を終えたチームの選手たち、大会関係者と大勢の観客が見守る中試合が始まった。



エスピーダのキックオフで試合が始まる。エスピーダは、これまでの試合同様しっかりとボールをつなぎ、⑩や⑨のドリブル突破から三笠ゴールに迫る。一方、三笠もしっかりと体を寄せてエスピーダの



ドリブルやパスに対応する。また、相手の一瞬のすきを突く⑤のミドルシュートやGKからのロングボールでチャンスをうかがうが決定機を作るところまでには至らない。決勝戦という緊迫した試合展開の中、エスピーダがやや押し気味に試合を進めるものの、連戦の疲れと暑さのためか攻撃が単調になり、これまでの連動した動きが見られない。三笠も⑨や⑤がラインの浅い相手DFの裏への突破を狙うが、局面を打開するような有効なパスが出ない。

10分、エスピーダは、⑬からパスを受けた⑭がドリブルで仕掛けゴール前で待つ⑬に再びパス。⑬の狙ったシュートは惜しくもバーの上を越す。

ハーフタイム、三笠は走り負けたくないこと。前からの守備をがんばることを確認する。一方、エスピーダは、みんなが一つになって戦うことを確認して後半戦が始まる。

後半開始早々、三笠は⑪のパスを受けた④が左足でシュート。エスピーダも、左サイドをワンツーで崩しチャンスを作る。後半戦に入っても激しい攻防が続く。15分、三笠は相手GKのクリアボールを拾った⑨がロングシュートを狙う。



その後も運動量豊富な⑪からのパスでチャンスを作る。17分、④のミドルシュートはエスピーダGKの好守に阻まれる。エスピーダもコーナーキックからのチャンスを⑭が頭で合わせるものの惜しくも枠をとらえることができない。徐々に勢いづいてきた三笠は、④のループシュートや⑪のミドルシュートでエスピーダゴールに迫る。試合は、このまま延長戦かと思われた23分、三笠⑦がドリブルで仕掛け相手のファールを誘う。⑪が蹴った約15mのフリーキックは見事にエスピーダゴールに吸い込まれる。

試合終了のホイッスルが鳴るまで必死に相手ゴールに迫るエスピーダだったが、三笠の集中した守備を最後まで崩すことはできなかった。1-0、三笠FCに歓喜の初優勝の瞬間が訪れた。

メンバー全員が良く走り相手ゴールに迫り続けた三笠。チームワーク、ベンチワークもよく一人一人

が持ち味を出し切った見事な優勝であった。一方、惜しくも敗れたエスピーダであったが、個々の高い技術を武器に、ドリブルとパスを駆使したサッカーは、優勝に値する好チームであった。

最後になるが、各地区、各チームの指導者が更に切磋琢磨しながら、今後とも北北海道のレベルアップを図ってもらいたい。

(文責 十勝少年サッカー連盟 喜多 進)





準優勝 エスピーダ旭川



第3位 奈井江サッカースポーツ少年団



第3位 R. シュペルブ釧路 U-12